平川市陸上競技場・インフィールドの人工芝化の実現可能性について

～ 市議会 一般質問のポイントと質疑応答の整理、そして将来のイメージ ～

1. 現在の陸上競技場の状況（イメージ図）



- 平成27～28年度に整備、平成29年5月 供用開始
- 日本陸上競技連盟 第4種公認競技場（平成28年12月）
- 陸上の練習・大会のほか、サッカーでの利用も可能
- 現在は天然芝（中学生以下はススパイク使用可）

2. 人工芝化後のイメージ図

サッカーなどで通年利用でき、スパイク使用も可能



※ これはイメージ図であり、実際の設計とは異なります。

3. 人工芝化に伴う主な課題（費用面以外）



① 公認競技場としての対応が必要

- 日本陸上競技連盟の第4種公認を維持するため、やり投げ・砲丸投げなど投てき競技に対応した人工芝（長い芝：105mm程度）が必要。



② 同時利用ができない

- トラックを使用しながらインフィールドをサッカーなどで同時に使用することは、利用者の安全確保ができないため不可。

③ 利用調整がさらに難しくなる

- 人工芝化によりサッカーなどの利用希望団体が増え、陸上の利用団体や個人利用が希望どおり利用できなくなる可能性がある。

4. 費用の比較（市の答弁）

現在の天然芝（インフィールド）

初期費用	約3,740万円 （野芝の種を吹きつけて整備）
年間維持費	約600万円 （土壌改良・養生管理・芝刈り・散水など）
スパイク使用	中学生以下：練習・試合とも可 高校生以上：不可
備考	春の芝の生育状況により、 一定期間使用を制限する場合あり

人工芝（インフィールド：投てき対応）

初期費用	約5億3,5000万円 （長い芝105mmが必要）
toto助成金	上限4,800万円 （補助対象経費上限6,000万円の5分の4）
実質負担額	約4億8,700万円
年間維持費	約450万円 （5年ごとにゴムチップ補充・かきほぐし整正など）
スパイク使用	全年齢で可能（想定）
備考	公認競技場を維持するため投てき競技に対応した仕様が必要

5. スパイク使用を制限しない場合の費用試算（市の答弁）



スパイクの使用を制限しない場合は、芝の傷みが進み、貼り替えが必要となる。

フィールド面積の1/3（約3,000㎡）を貼り替えると仮定した場合、年間約750万円の費用が追加でかかると見込まれる。

現行の維持費		芝の貼り替え費用		合計
約600万円	＋	約750万円	＝	約1,350万円／年

6. 一般質問の主なポイント（葛西勇人議員）



葛西勇人議員

1. 前回の答弁を詳しく確認し、人工芝化の実現可能性を改めて問う。
2. 費用面以外の課題（公認対応・利用調整・安全性など）を確認。
3. 天然芝・人工芝の初期費用・維持費・toto助成金の詳細を確認。
4. スパイク使用制限の現状と、高校生以上の練習ができない課題を指摘。
5. 市のスポーツ推進計画に基づき、誰もが利用できる環境整備を要望。

さらに、議員は次のように主張

- サッカー人口の増加やアスリート育成のため、通年練習できる環境が必要。
- 人工芝化により、雨天後も早期利用が可能で、部員増加や大会誘致などの効果が期待できる。
- 現在の天然芝をスパイク使用で練習すると芝が荒れ、使用禁止期間が生じるため、実質的にスパイク使用は制限されている。
- 費用は高額だが、長期的な視点で市民の健康増進・競技力向上・にぎわい創出につながる投資。
- すぐに整備がとしい場合でも、長期総合プランに位置付け、将来的に検討してほしい。

7. 質疑応答の要点



議員：人工芝化すると、サッカーの利用が増えて陸上の利用ができなくなるのではないか。利用調整はどのように行っているのか。



教育長：現在も土日・平日夕方に陸上の団体や個人が切れ目なく利用しており、人工芝化するとサッカーの利用希望が増え、陸上の利用が制限される可能性がある。



議員：サッカーのスパイク使用は、小学生は練習・試合とも可能だが、中学生は練習できないと聞いた。現状を教えてほしい。



事務局長：陸上競技場・平賀多目的広場ともに、中学生までのスパイク使用は練習・試合ともに認めている。尾上多目的広場については確認中であり、後日回答する。



議員：天然芝でスパイク使用を制限しない場合、維持費はどのくらい増えるか。



市長：芝の貼り替えが必要となり、フィールド面積の1/3（約3,000㎡）を貼り替えると仮定した場合、年間約750万円の追加費用がかかる見込みである。



教育長：人工芝化により一定の効果は期待できるが、他の公共施設整備も多く、限られた財源の中でスパイク使用は中学生までとする現状を維持したい。

8. 期待される効果（人工芝化のメリット）

通年利用	積雪後も使用可能	雨天後も早期利用	部員増加・競技力向上	大会・合宿の誘致	多目的利用	市民の健康増進	長期的な効果
スパイクで練習・試合が可能	雪片付け後すぐにプレーできる	水はけが良く翌日から使用可能	チームの強化・アスリートの育成	市外からの利用増加	サッカー・ラグビー・運動会・地域のレクリエーションなど	スポーツによる体力づくり・まちの活力向上	人口増加・にぎわい創出 地域の魅力向上